

令和５年度第１回安全対策連絡協議会議事録

１ 日時・場所 令和５年４月５日（水） １７時００分～１７時４０分

於：在東ティモール日本国大使館多目的ホール

２ 出席者（在留邦人 ３０名、大使館８名、計 ３８名）

- （１）ＪＩＣＡ関係者 １５名
- （２）国連関係者 ２名
- （３）ＮＧＯ関係者 ４名
- （４）その他在留邦人 ９名
- （５）大使館職員 ８名

３ 冒頭、木村大使より最近の東ティモールの政治状況、選挙に向けた動きにつき約５分間説明を行った。

４ 議事内容

（１）領事・警備班からパワポ資料を使つての説明

○近年の当国治安情勢について（笹谷警備対策官より説明）

パワポ資料４

PNTL 提供による２０１４～２０２１年までの当国事件・事故数統計表をグラフにして説明。

グラフは各都市ごとに分けられており、ディリが事件・事故共に１番多く２０２１年は１７６５件、次いでオエクシで３３１件、リキサで２９４件となり、首都であるディリに人口が密集していることもあり、圧倒的に事件・事故数が多い。

パワポ資料５

PNTL 提供による２０１４～２０２１年までの当国重大犯罪件数統計表をグラフにして説明。

東ティモールは傷害事件が突出して多く、２０２１年の傷害事件は１８９３件発生している、次いで脅迫４０５件、性犯罪２７５件、窃盗１４４件。

パワポ資料６

PNTL 提供による２０１４～２０２１年までの当国交通事故件数と死亡者数統計表をグラフにして説明。

東ティモールでの交通事故件数は２０２１年１４４７件、ディリが多く７７９件、次いでリキサ１１９件、バウカウ９８件。

パワポ資料 7～8

ディリ県で発生した事件を抜粋した資料を使用。

若者の傷害事件が多く、特に人が集まると傷害事件や窃盗事件に発展しているケースが散見される。時間帯的には夜間から朝方にかけてが多い。

パワポ資料 9

2018年国民議会選挙の際の事件の概要

(イ) 国民議会選挙（キャンペーン中を含む）で107件の暴力事件と選挙犯罪が発生、97件は選挙キャンペーン中に発生した。

最も深刻な事件はヴィケケ県で何者かが、キャンペーン中の車列に投石し、16人が負傷、2人の重傷者が発生した。

(ロ) 暴力事件発生の原因について。

- ・政治指導者の言動が支持者を刺激し、暴力で対抗させ、その結果、負傷者、家の破壊、車の破壊、その他の財産が破壊された（一部の政党を支持するマーシャル・アーツ・グループの関与もみられる）。
- ・一部の政党は、ある県から別の県に支持者を動員し、その移動の途中で異なる政党同士が互いに挑発し、暴力につながった。

○個人・組織としての対応について（坂本書記官より説明）

①マーシャル・アーツ・グループ同士の投石動画、②2022年大統領選挙時政党支持者同士の衝突動画を使用し、約5分間視聴し説明を行った。

パワポ資料 11

騒擾発生時、あなたはどのように行動するか？

まずは状況確認、ラン（逃げる）ハイド（隠れる）テル（連絡）の基本行動を取る。

- ・徒 歩…どこに逃げるべきか？近くに隠れる場所があるか？
 - バッグなど持っている物があれば、頭を守って逃げる。
- ・自転車…自転車で逃げられるか？自転車をおいて逃げるか？
 - 自身の安全優先、自転車を捨てても現場から離れる。
- ・自動車…自動車で逃げられるか？逃げられない場合は？
 - バック出来る状況であれば方向転換し逃げる、後方の自動車等によりバックが出来ない際は施錠し逃げる、投石等身に危険が迫った際には、車から出ずに身体を屈める等して身を守る。
- ・店 内…非常口は？窓ガラス付近から離れて！
 - 窓ガラスが割れると凶器となる事があるため、窓からは離れる。非常口があるならば非常口から逃げる。

○シャッター・カーテン・シールド・門等を閉める。

- ・事務所…スタッフの避難場所は？鍵は閉める？来訪者への対応は？ 外出しているスタッフへの連絡は？

○避難場所の選定、来訪者がいる際等を想定したマニュアルの作成、連絡網の作成。一人では同時に対応できないので予め誰が何をするのかを決めておく必要がある。

- ・負 傷…自分が負傷した際には何処に行くのか？或いは同僚 が負傷した際にはどのような対応をとるのか？

○負傷した際に何処に行けばいいのか（JICA 所員成田祐子様より説明）
投石等により負傷した際には、海外医療保険等を使用し外部の医療機関を受診すると思われる。ディリ市内にあるスタンフォードメディカルでは縫合処置が可能だが、当日の当番医が救急医ならば可能だが内科医だと縫合が出来ない事があるので、受診する際は事前に連絡するように。

また、国立病院に勤務している外科と整形外科の医師が、夕方 18 時から 21 時までディリメディカルセンター及びチンドラニッタクリニックに勤務しており対応可能だが、意識が無い・出血が止まらない等は国立病院の ER センターへ直接行って処置してもらうように。

○催涙ガスが使用された際の対応について

そうした事態が現在想定されているわけではないが、以前当国では、暴徒等から治安を回復するために催涙ガスを使用した事があり、催涙ガスから身を守るためには距離を取るのが有効。催涙ガスは唐辛子による刺激をさらに強くしたようなもので、空気より重たいため高い所へ避難するのも有効だが、風により舞い上がる事も想定されるため、出来るだけ距離を取って逃げる。

催涙ガスは化学薬品で、目・口・鼻等の粘膜や汗をかいた肌に付着し刺激を与える。車内で身を守る際には、ハンカチ等で顔を覆う等の処置をし、エアコンは切る。

催涙ガスの被害にあった際は、すぐに水で洗い流す、自宅に帰った際にはシャワーで洗い流し服を着替える。

パワポ資料 1 2

騒擾による生活インフラへの一時的な影響

- ・通信の遮断…インターネット回線利用者増により連絡できず。

○携帯電話のショートメッセージサービス等で情報を伝達する連絡網を整備することで対応。

- ・交通機関の停止…道路の一時的な封鎖により、目的地までの時間がかかる。タクシーなど の公共機関が利用できない。
- テレワークに変更できるか、時間に余裕のある行動を取り、友人や所属組織の車両を利用できるか確認する。
- ・商業施設の閉鎖…生活必需品の買い出しに影響、組織としては在庫に余裕があるか。
- 水・食料品や生活必需品をある程度備蓄しているか。
- ・銀行の機能停止…銀行機能が停止することにより、支払い業務や送金停止、ATMの利用に制限がかかり、お金が下ろせなくなる。
- 緊急時に備え、ある程度の現金を確保しているか。

パワポ資料 1 3（まとめ）

- ・5月21日（日）に国民議会議員選挙が実施され、これに先立ち、4月19日（水）から5月18日（木）まで、選挙運動が行われます。今後、選挙活動の活発・過熱化や選挙結果に起因する抗議活動、暴力行為などが発生する可能性も否定できませんので、最新情報の入手、安全確保に努めて下さい。
- ・ディリにおいて事件は主に夕方以降に発生しているケースが多いので単独での不要 不急の外出を避けると共に特にキャンペーン中は昼間でも慎重な行動を心がける。現金や備蓄品を確保しつつ、不測の事態が発生したら、ラン+ハイド+テル。
- ・組織として緊急時対応マニュアルや連絡先を整備し、スタッフ全員が把握しているか、本部に共有しているか、バックアップ体制は整っているか、必要に応じて訓練を実施 してマニュアルなどの見直しを。

何か困ったことがあったら、大使館緊急電話まで連絡を！

パワポ資料 1 4（参考：インドネシアの安全情報）

サヌール地区：通称「お金見せて詐欺疑い」事案発生に伴う注意喚起

- ・サヌール地区所在のスーパーマーケット駐車場において外国人男性による通称「お金見せて詐欺」と疑われる事案が発生した。
- ・見知らぬ者から突如声を掛けられたり、唐突な依頼をされたりした場合は、相手の言動等に惑わされたり油断することなく、会話を断ち切り、すぐにその場から離れる等して被害の未然防止に努める。

インドネシア入国時の電子税関申告（E-CD）（注意喚起）

- ・電子税関申告（E-CD）事前申請の偽サイトが出回っているので、利用の際には、公式 URL と相 違ないか確認の上、個人情報の取扱いに注意する。

5 質疑応答（協議会終了後の懇談の中でいただいた質疑）

○子女をインターナショナルスクールに通わせている在留邦人より、

自分達の自宅は一本道しかなく、仮のその場所で衝突など発生した場合、子供達を迎えにいけなくなってしまう、そのような場合はどうしたらよいか。

（当館回答）

まずは学校に事情を説明して相談して欲しい。学校であれば必ずマニュアルで帰宅できない子女への対応を決めていると思われる。学校側で対応できなければ大使館においても支援できるのでその際は相談して欲しい。